一般社団法人
教育システム情報学会
Japanese Society for
Information and Systems in Education

ニューズ・レター No.206

JSiSE
発行日 2017年1月31日
発行所
一般社団法人
教育システム情報学会
発行者 仲林 清
〒599-8531
大阪府堺市中区学園町1-1
大阪府立大学 真嶋研究室内
URL http://www.jsise.org
E-MAIL secretariat@jsise.org

●○●○●○●○●○●○●≪ も く じ ≫●○●○●○●○●○●

2017 年度全国大会のご案内・・・・・・・1-3
特集号論文募集・・・・・・・・・・・・・4-6
2016 年度 第６回研究会 開催案内・・・7-8
2016 年度 特集論文研究会 開催案内・・9-10
2017 年度研究会開催一覧・・・・・・・・11
2017 年度第 1 回研究会講演募集・・12-13
研究会報告の電子化と年間購読について・・14
2016 年度 JSiSE 学生研究発表会・・・・15
2016 年度第 3 回研究会開催報告・・・・16
2016 年度第 4 回研究会開催報告・・・・17
2016 年度第 5 回研究会開催報告・・・・18
ワークショップ「成果発表を磨く」
開催のお知らせ・・・・・・・・・・19
支部活動報告・・・・・・・・・・・・20-21
学会 Twitter,
Facebook ページのご案内・・・・・・22
他団体協賛・後援のお知らせ・・・・・・23
会費納入のお願い・・・・・・・・・・24-25
事務局より・・・・・・・・・・・・・26-27
会員専用ページの案内,
学会誌・研究報告バックナンバーのご案内,
新入会員のご紹介，入会のご案内

●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●

2017 年度 JSiSE 全国大会(第 42 回)のご案内

2017 年度全国大会のテーマ，開催日，および開催場所が決定しました.

テーマ：	未来を拓く情報学と教育の情報化
開催日：	2017 年 8 月 23 日(水)～25 日(金)
開催場所：	北九州国際会議場
	http://www.convention-a.jp/kokusai-kaigi/

是非ご参加ください．大会の詳細は，随時 Web サイト等でご案内いたします.

2017 年度 全国大会 企画セッション テーマ募集のご案内

教育システム情報学会 全国大会委員会 委員長　小松川 浩

企画セッションは参加者にとって関心の高く，より詳細な研究テーマに焦点をあてたセッションです．以下のようにテーマを公募いたします．奮ってご応募ください．テーマが採用された方はオーガナイザになっていただき，発表募集の広報やプログラム作成，セッションの実施を行っていただきます．なお，お申し込みいただいた内容にしたがって全国大会委員会プログラム部会で審査をし，採否を決定させていただきますので，ご了承ください．

企画セッションの講演原稿のフォーマット，投稿方法，セッションのあたりの発表数，講演時間等は一般セッションと同じです．ただし，オーガナイザの裁量で 1 スロットにつき講演 1 件分を議論の時間にあてることができます．セッションの時間帯やスロット数は，大会プログラム作成時に全国大会委員会大会プログラム部会にて講演申込み数や全国大会全体の構成に応じて決定いたします．講演申込みは大会 Web の講演申込みサイトより，一般から公募いたします．また，企画セッションでの発表も大会奨励賞の対象となります．

企画セッションのテーマは一般セッションよりも特化したテーマに焦点があてられていることが望まれます．テーマご提案の際には，一般セッション講演募集用のカテゴリ表を参考にしてください．

■オーガナイザにご担当頂く事項

- 発表募集の広報（企画セッションの概要は全国大会 web ページに掲載されます）
- 企画セッションのプログラム（発表順）の決定
- 当日のセッション運営（座長の選定はオーガナイザに行っていただきます）

■お申し込み方法

以下の項目をご記入の上，全国大会委員会プログラム部会(jsise-taikai-pc@jsise.org)宛まで
電子メールにてお申し込みください．

- テーマ（企画セッション名）
- 概要（400 文字程度）
- テーマが該当するカテゴリ，分野（カテゴリ表より選択，多くて 2,3 個を目安としてください）
- テーマが該当するキーワード（カテゴリ表中のキーワード）
- テーマ独自のキーワード
- オーガナイザ全員の氏名と所属，代表者の連絡先（電子メールアドレスなど）
  ※オーガナイザは教育システム情報学会会員に限ります．

■申込期限

2017 年 2 月 23 日(木)　※2017 年 3 月 3 日（金）までに採録結果を通知いたします．

議論観点	カテゴリ	分野名 (発表時にはここだけ選択してもらいます. プログラム編成においてセッション名として使います)	キーワード (分野選択時の参考にしてください. ただし, 各分野の発表はこれらに限るものではありません)
支援対象	設計	授業設計・インストラクショナルデザイン	授業研究, 学習理論, 教育方法, カリキュラム・デザイン, 授業評価, 授業実践, シラバス, 研修設計
		学習環境デザイン	デザイン研究, 学習科学
	教育・学習手法	遠隔教育	通信教育, 国際交流, 交流学習, 異文化交流
		ブレンディッド学習	反転授業, e ラーニング授業利用
		連携型教育	小中連携, 中高連携, 高大連携, 大学間連携, 科目間連携, 地域連携
		協調学習	コミュニティ支援, コミュニケーション支援, グループ学習, ディスカッション支援
		アクティブラーニング	作問学習, PBL, クリッカー
	分析・評価	学習者特性・行動分析	ポートフォリオ, アフェクティブラーニング, 質的分析, 学習履歴分析, レディネス, 生体情報, レスポンス分析, 教学インスティテューショナル・リサーチ(IR)
		学習評価・アセスメント	リフレクション, ルーブリック, テスト理論, 質的評価, 適応型テスト, 数理モデル, ピアアセスメント, グループワーク評価
	対象別教育	HRD・生涯学習	リカレント教育, 社会人教育, 企業内教育/研修, 異文化理解
		高等教育	キャリア教育, 質保証, リメディアル, 初年次教育, ファカルティ・ディベロプメント(FD), 研究活動支援
		初等中等教育	言語活動, 教科指導, 授業実践, 教師教育
	領域別教育	プログラミング教育	アルゴリズム理解, ビジュアルプログラミング, プログラミング言語教育, オブジェクト指向教育
		情報技術教育	ネットワーク教育, データベース教育, 組み込みシステム教育, モデリング教育
		語学教育	日本語学習, 外国語学習, 聴解学習, 発話学習, 作文教育, 読解教育, 語彙・単語学習, 文法教育
		教科教育	教科情報, その他教科
		特別支援教育	インクルーシブ教育, LD, ADHD, 発達障害, 院内学級, 身体障害, 知的障害者
		スキル学習	身体知, 経験知, 学習スキル, メタ認知, 問題解決支援
		医療・看護・福祉教育	カウンセリング, ボランティア, 介護, 理学療法, 保育
		情報リテラシー	プレゼンテーション支援, コンピュータ操作, 情報倫理, セキュリティ, 情報モラル
技術	ICT 活用	マルチメディア活用	映像・音声配信/収録/活用, 電子教科書
		ソーシャルメディア活用	ソーシャルブックマーク, SNS, BLOG, マイクロ BLOG
		デバイス活用	モバイル, タブレット, ユビキタス, ウェアラブル
		プラットフォーム活用	LMS, e ポートフォリオ, CMS, テレビ会議システム
	技術開発・運用	プラットフォーム開発	LMS, CMS, プラグイン, CSCL, e ポートフォリオ, e テスティング, API, データフォーマット, デバイス, テレビ会議システム, クラウド利用
		インフラストラクチャ	認証, ネットワーク構築, センサネットワーク, クラウド, セキュリティ, システム連携, 仮想化, データ運用管理
		コンテンツ作成支援	コンテンツ・オーサリング, カリキュラム・オーサリング, コンテンツ自動生成, SCORM, LOM
	先進的学習支援技術	先進的学習支援	アフェクティブコンピューティング, エージェント, 機械学習, 情報検索, 適応的支援, ナビゲーション支援, リフレクション支援, 情報推薦, ゲーミフィケーション
		分析技術	テスト理論, データマイニング, ラーニングアナリティクス, ビッグデータ
		モデリング技術	メタ認知, 学習科学, 学習者モデル, 認知ツール, 数理モデル, ドメインモデリング
		ユーザインタフェース	仮想現実(VR), 拡張現実(AR), HCI, 視線入力, ヘッドマウントディスプレイ(HMD), ジェスチャ入力, 3D, 可視化, センサーデバイス, 音声入力, シミュレーション, マイクロワールド, 擬人化技術, アウェアネス, テレイグジスタンス
その他	その他	その他	

特集号論文募集

—安心・安全な社会に貢献する教育システム—
—プログラミング・情報技術教育に関する実践・支援システム—

本特集号では，近年社会における需要が急速に高まっている 2 つのテーマ，「安心・安全な社会に貢献する教育システム」と，「プログラミング・情報技術教育に関する実践・支援システム」に関する論文を募集いたします．当該分野における新たな教育支援技術，ならびに当該分野の技術を応用した教育実践に関する研究開発の論文を幅広く募ります．一般論文・実践論文のみならず，ショートノート・実践速報としてのご投稿も歓迎いたしますので，奮ってご投稿ください．

1. 対象分野

A) 安心・安全な社会に貢献する教育システム

教育・学習は，安心・安全な社会を基盤としてより良く発展していきます．しかし，安心・安全な社会を維持するために我々が取り組むべき課題は多様かつ複雑化しています．このような状況において，大規模自然災害やテロリズムのみならず，事故や感染症など日常生活に潜むさまざまなリスクについて教育・学習することは重要であり，安心・安全な教育・学習環境を構築することも急務です．これらのことに ICT が大きな役割を果たすことは言うまでもなく，安心・安全な社会に貢献する教育システムの充実が期待されています．そこで本特集号では，防災・減災，医療・看護・福祉，セキュリティ，情報モラル，情報リテラシ，情報・教育インフラなどの幅広いトピックを対象に，安心・安全な社会に貢献する教育システムに関する論文を広く募集いたします．

キーワード：防災・減災，医療・看護・福祉，セキュリティ，情報モラル，情報リテラシ，情報・教育インフラ，安全教育，ビッグデータ，ゲーミング・シミュレーション，可視化，GIS（地理情報システム），IoT，SNS，VR/AR，モバイル／ユビキタスシステム，センシングシステム，クラウドコンピューティング，携帯情報端末，マルチメディア，リスクマネジメント，認知・心理，教師教育，安心・安全の評価　など（これらに限定されるわけではありません）

B) プログラミング・情報技術教育に関する実践・支援システム

従前より ICT 技術者を目指す学生や，関連業種に就いた際の研修などにおいて，プログラミングおよび情報技術（ネットワーク，データベースなど）の教育が重視されてきました．一方，ICT 技術は社会において遍在的な存在となっており専門的な技術者育成の場以外においても，これらの教育が広く実施されつつあります．特に近年においては，情報教育の一環として小・中学生，高校生に対してプログラミング教育の導入が順次進められているとともに，私塾においてプログラミング学習の場が設けられるようになっています．また，中等教育においては，プログラミングのみならず，情報科学・技術の基礎について学習することも求められています．以上の背景をふまえて，本特集号ではこのような状況の中，様々な学習者に対して必要とされるプログラミング・情報技術教育に関する実践や支援システムについての論文を広く募集いたします．

キーワード：情報通信技術，情報科学，初学者向け教育，技術者育成，初等教育，中等教育，高等教育，

プログラミング言語，ビジュアルプログラミング環境，アルゴリズム，モデリング，アンプラグド・コンピュータサイエンス，論理的・創造的思考，プログラミング的思考，computational thinking，ネットワーク，データベース，ハードウェア連携，計測・制御，IoT，ICT 環境整備，教員研修　など（これらに限定されるわけではありません）

2. 論文種別

通常と同様，すべての種別（一般論文，実践論文，ショートノート，実践速報）の論文を募集します．なお，査読結果により，異なる種別での採録となる場合もあります．また，編集委員会の判断で，一般投稿論文として扱うことになる場合もあります．あらかじめご了承ください．

3. 投稿要領

教育システム情報学会学会誌原稿執筆要領に準じます．詳細は教育システム情報学会の Web ページで確認してください．　Web 投稿の際には以下の点にご注意ください．

- 「投稿種別」で「特集号」を必ず選択してください．
- A)，B)のうちどちらのテーマに関する論文であるかを，投稿情報入力の際に「事務局への連絡事項」の欄に明記してください．
- 特集論文研究会（2017 年 3 月 18 日（土）開催予定）で発表を行った方は，投稿情報入力の際に「事務局への連絡事項」の欄に，特集論文研究会での発表題目と発表番号を記載してください．
- 英文で投稿される場合は，本会英文誌へ投稿してください．英文誌においても同一特集名の特集号論文として取り扱い，和文誌と同様のスケジュールで査読を行います．
  英文誌ホームページ：http://www.jsise.org/journal/journal_en.html

4. スケジュール

- 特集論文研究会：2017 年 3 月 18 日（土）
  会場：北九州市立大学　北方キャンパス（北九州市小倉南区北方 4 丁目 2 番 1 号）
  http://www.kitakyu-u.ac.jp/access/kitagata.html
- 発表申込締切：2017 年 1 月 17 日（火）／原稿提出締切：2017 年 2 月 7 日（火）
- 論文投稿締切：2017 年 6 月 5 日（月）
- 掲載予定巻号：2018 年 4 月 1 日発行予定の学会誌（Vol.35，No.2）
  （採録通知送付予定：2017 年 11 月初旬頃）

5. 特集号編集委員会

委員長：小西達裕（静岡大学）
副委員長：瀬田和久（大阪府立大学），西野和典（九州工業大学）
幹事：田中孝治（北陸先端科学技術大学院大学），布施泉（北海道大学），笠井俊信（岡山大学），光原弘幸（徳島大学），國宗永佳（信州大学）
委員：学会誌編集委員，特集号編集委員

6. 問い合わせ

- 特集号全般に関する問い合わせ：

  特集号編集委員会副委員長 瀬田和久（大阪府立大学）

  E-mail: seta@mi.s.osakafu-u.ac.jp

- Web 投稿に関する問い合わせ：

  教育システム情報学会編集事務局

  電話：03-5389-6492，E-mail: jsise-edit@bunken.co.jp

  〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 4-4-19 株式会社国際文献社 長澤

==========

教育システム情報学会（JSiSE） 2016年度 第6回研究会 開催案内

[研究会Web] http://www.jsise.org/society/committee.html

==========

担当：西野和典，西端律子，浅羽修丈，永田奈央美，長谷川理，鷹岡亮（研究会委員会）

■テーマ ：ICT を活用したアクティブ・ラーニング／新教育課程／一般

■開催日 ：2017 年 3 月 18 日（土）

■開催場所：北九州市立大学 北方キャンパス本館

（〒802-8577 北九州市小倉南区北方 4 丁目 2 番 1 号）

https://www.kitakyu-u.ac.jp/access/kitagata.html

■趣旨

2020年度からの学習指導要領等の改訂に向けて，基本的な方向性が示されています．そこでは，「どのように学ぶか」「子供一人一人の発達をどのように支援するか」「何ができるようになるか」「何を学ぶか」「何が身に付いたか」の観点がポイントとなっています．「どのように学ぶか」「どのように支援するか」という観点からは，児童・生徒・学生に求められる能力・資質を育む手法として，「主体的・対話的で深い学び」いわゆるアクティブ・ラーニングの重要性が指摘されています．このアクティブ・ラーニングを実現するうえで，ICTの活用は効果的であると言われており，ICTの効果的活用を含む学習・指導方法，教材開発に関連する研究を推進することは重要であると考えられます．また，「何ができるようになるか」「何を学ぶか」「何が身に付いたか」という観点からは，新教育課程では児童・生徒・学生に新たな能力・資質を求める（例えば，プログラミング的思考など）ことが検討されています．新教育課程で求められる能力・資質について研究を推進することも重要であると考えられます．

そこで，第6回研究会では，将来の情報教育を見据えた教育・学習方法や教育・学習内容についての研究や議論を深めるため，「ICTを活用したアクティブ・ラーニング／新教育課程」に関連する研究発表を募集します．また，教育の情報化に関連した研究発表や一般研究発表も幅広く募りますので，奮ってご投稿ください．

■参加登録

研究会当日のご参加も受付けておりますが，当日の円滑な受付けのため，**事前の参加登録**のご協力をお願いしております．研究会へのご参加を予定している方は，**【3 月 10 日(金)】**までに，担当委員(E-mail: n-asaba＠kitakyu-u.ac.jp (「＠」の部分は、半角の「@」に変えて下さい))までお名前とご所属をお知らせ下さい．懇親会の参加希望も**【3 月 10 日(金)】**までにお知らせ下さい．

■研究報告集と登壇者の報告書購入について

今年度から研究報告が電子化されました．年間購読をお申し込み頂いている会員の方は，研究会開催日の約 1 週間前から会員専用マイページで公開されます．非会員の方や，年間購読を申し込まれていない方は，当日，受付で予稿集代(1,000 円)をお支払いただき，ダウンロード用パスワードをお受け取り下

さい．当日購入者でインターネット接続ができない場合，USB メモリーからコピーをしていただくこともできます．

研究会への参加費は無料となっておりますが，登壇者の方で研究報告の年間購読をされていない方には，当日分のオンライン研究報告集の購入(1,000 円)をお願いしております．詳しくは Q&A(http://www.jsise.org/society/faq.html)を御覧ください．

＊ 年間購読(4,000 円)をお申し込みいただくと，年 6 回の定例研究会と 1 回の特集研究会の計 7 回分の研究報告を読むことができます．申込方法等の詳細は，こちら（http://www.jsise.org/utility/information/20160222.html）をご覧ください．

■懇親会

特集号研究会と合同で，小倉駅付近で懇親会（4,000～5,000 円程度）を予定しております．参加ご希望の方は，お名前とご所属を記載の上，担当委員のメールアドレス宛（E-mail: n-asaba＠kitakyu-u.ac.jp (「＠」の部分は、半角の「@」に変えて下さい)にお申し込み下さい．

締め切りは，**【3 月 10 日（金)】**です．

■研究会案内・お問い合わせ

浅羽修丈（北九州市立大学，第 6 回研究会担当委員）

E-mail：n-asaba＠kitakyu-u.ac.jp (「＠」の部分は、半角の「@」に変えて下さい)

==========

教育システム情報学会（JSiSE） 2016年度 特集論文研究会 開催案内

[研究会Web] http://www.jsise.org/society/committee.html

==========

担当：西野和典（九州工業大学），笠井俊信（岡山大学），國宗永佳（信州大学），
光原弘幸（徳島大学），布施泉（北海道大学），田中孝治（北陸先端科学技術大学院大学）

■テーマ ：―安心・安全な社会に貢献する教育システム―

―プログラミング・情報技術教育に関する実践・支援システム―

■開催日 ：2017 年 3 月 18 日（土）

■開催場所：北九州市立大学 北方キャンパス（北九州市小倉南区北方 4 丁目 2 番 1 号）

http://www.kitakyu-u.ac.jp/access/kitagata.html

■趣旨

本研究会は 2018 年 4 月発刊予定の本学会誌論文特集と連動した企画となっております.

［学会誌特集号の論文募集はこちら］（http://www.jsise.org/journal/cfp2017_offer.html）

A）安心・安全な社会に貢献する教育システム

教育・学習は，安心・安全な社会を基盤としてより良く発展していきます．しかし，安心・安全な社会を維持するために我々が取り組むべき課題は多様かつ複雑化しています．このような状況において，大規模自然災害やテロリズムのみならず，事故や感染症など日常生活に潜むさまざまなリスクについて教育・学習することは重要であり，安心・安全な教育・学習環境を構築することも急務です．これらのことに ICT が大きな役割を果たすことは言うまでもなく，安心・安全な社会に貢献する教育システムの充実が期待されています.

本特集論文研究会では，防災・減災，医療・看護・福祉，セキュリティ，情報モラル，情報リテラシ，情報・教育インフラなどの幅広いトピックを対象に，安心・安全な社会に貢献する教育システムに関する研究発表と議論が期待されます.

B）プログラミング・情報技術教育に関する実践・支援システム

従前より ICT 技術者を目指す学生や，関連業種に就いた際の研修などにおいて，プログラミングおよび情報技術（ネットワーク，データベースなど）の教育が重視されてきました．一方，ICT 技術は社会において遍在的な存在となっており専門的な技術者育成の場以外においても，これらの教育が広く実施 されつつあります．特に近年においては，情報教育の一環として小・中学生，高校生に対してプログラ ミング教育の導入が順次進められているとともに，私塾においてプログラミング学習の場が設けられる ようになっています．また，中等教育においては，プログラミングのみならず，情報科学・技術の基礎 について学習することも求められています.

本特集論文研究会では，様々な学習者に対して必要とされるプログラミング・情報技術教育に関する実践や支援システムに関する研究発表と議論が期待されます.

■参加登録

研究会当日のご参加も受付けておりますが，当日の円滑な受付けのため，**事前の参加登録**のご協力をお願いしております．研究会へのご参加を予定している方は，**【3 月 10 日(金)】**までに，下記の担当委員メールアドレス宛にお名前とご所属をお知らせ下さい．懇親会の参加希望も**【3 月 10 日(金)】**までにお知らせ下さい．

■研究報告集と登壇者の報告書購入について

今年度から研究報告が電子化されました．年間購読をお申し込み頂いている会員の方は，研究会開催日の約 1 週間前から会員専用マイページで公開されます．非会員の方や，年間購読を申し込まれていない方は，当日，受付で予稿集代(1,000 円)をお支払いただき，ダウンロード用パスワードをお受け取り下さい．当日購入者でインターネット接続ができない場合，USB メモリーからコピーをしていただくこともできます．

研究会への参加費は無料となっておりますが，登壇者の方で研究報告の年間購読をされていない方には，当日分のオンライン研究報告集の購入(1,000 円)をお願いしております．詳しくは Q&A(http://www.jsise.org/society/faq.html)を御覧ください．

＊ 年間購読(4,000 円)をお申し込みいただくと，年 6 回の定例研究会と 1 回の特集研究会の計 7 回分の研究報告を読むことができます．申込方法等の詳細は，こちら（http://www.jsise.org/utility/information/20160222.html）をご覧ください．

■懇親会

第 6 回研究会と合同で，小倉駅付近で懇親会（4,000～5,000 円程度）を予定しております．参加ご希望の方は，お名前とご所属を記載の上，下記の担当委員メールアドレス宛にお申し込み下さい．

締め切りは，**【3 月 10 日（金)】**です．

■研究会および学会誌特集号案内・担当委員（お問い合わせ先）

・特集論文研究会案内：http://www.jsise.org/society/committee/2016/PROGRAM_special.html

・学会誌特集号案内：http://www.jsise.org/journal/cfp2017_offer.html

光原弘幸（編集委員会・幹事）

E-mail: mituhara＠is.tokushima-u.ac.jp （「＠」の部分は，半角の「@」に変えて下さい)

★★多くの方のご参加を心よりお待ちしております！★★

2017 年度 研究会開催スケジュール

～ 2017 年度研究会開催予定 ～

第１回研究会（担当：松居辰則，真嶋由貴恵，加藤泰久，北村士朗，森本容介，仲林 清）

◆ テーマ：学習環境デザインとLearning Analytics・学習サービス／
医療・看護・福祉における先進的ICT利用／一般

◆ 日 程：５月１３日（土）（発表件数により，5月14日（日）にも開催致します）

◆ 場 所：国立情報学研究所

※学習分析学会，情報処理学会「教育学習支援情報システム(CLE)研究会」との合同開催を予定

第２回研究会（担当：小松川浩，野崎浩成，布施 泉，不破 泰，金子大輔）

◆ テーマ：ICTを活用した学習支援と教育の質保証／一般

◆ 日 程：７月１日（土）

◆ 場 所：信州大学　松本キャンパス中央図書館

共 催：信州大学総合情報センター

第３回研究会（担当：小西達裕，林 敏浩，安間文彦）

◆ テーマ：組織的なeラーニング実践のための学習支援環境の構築と運用／一般

◆ 日 程：９月２２日（金）or ２９日（金）

◆ 場 所：サイバー大学　福岡キャンパス

第４回研究会（担当：小尻智子，曽我真人，長谷川忍，柏原昭博）

◆ テーマ：適応的なスキル学習支援／一般

◆ 日 程：１２月２日（土）

◆ 場 所：金沢工業大学

※電子情報通信学会「教育工学(ET)研究会」との合同開催を予定

第５回研究会（担当：光原弘幸，佐々木整，三石 大，高木正則，鷹野孝典）

◆ テーマ：新技術と教育情報を活用した教育学習環境の設計／一般

◆ 日 程：２０１８年１月６日（土）

◆ 場 所：神奈川工科大学　アクティブラーニング横浜

**第６回研究会（担当：西野和典，鷹岡亮，浅羽修丈，西端律子，
永田奈央美，長谷川　理）**

◆ テーマ：初等教育とプログラミング／一般

◆ 日 程：２０１８年３月の土曜日

◆ 場 所：畿央大学

※ 特集研究会と同時開催

教育システム情報学会（JSiSE）

2017 年度　第 1 回研究会　講演募集

教育システム情報学会

担当：松居辰則，真嶋由貴恵，加藤泰久，北村士朗，森本容介，仲林清（研究会委員会）

■テーマ：学習環境デザインと Learning Analytics・学習サービス／医療・看護・福祉における先進的 ICT 利用／一般

※情報処理学会「教育学習支援情報システム（CLE）研究会」，学習分析学会（JASLA）研究会と合同開催です.

■開催日時：2017 年 5 月 13 日（土）（発表件数により，5 月 14 日（日）にも開催致します）

■会場：国立情報学研究所（東京都千代田区一ツ橋 2-1-2）

東京メトロ半蔵門線／都営地下鉄三田線・新宿線「神保町」A9 出口

東京メトロ東西線「竹橋」1b 出口　徒歩 3〜5 分

http://www.nii.ac.jp/about/access/

■発表申込締切：2017 年 3 月 27 日（月）

■原稿提出締切：2017 年 4 月 12 日（水）

■主旨：

本年度第 1 回研究会は，「学習環境デザインと Learning Analytics・学習サービス／医療・看護・福祉における先進的 ICT 利用／一般」のテーマで実施いたします.

「学習環境デザインと Learning Analytics・学習サービス」に関しては，企業や大学における人材開発や組織マネージメントとの連携，学習コンテンツ設計，インストラクショナルデザイン，品質評価，学習者支援，ブレンデッドラーニング，インフォーマルラーニングなどの方法論，e ラーニングツール，システム，実践環境に関する提案・開発・応用など幅広いトピックスに関するご発表を募集いたします. 特に, Learning Analytics の理論・技術・実践に関する幅広い発表を募集し，その可能性や課題について議論したいと思います. さらに，学習・教育を「サービス」の観点から捉え直し，動的かつ非構造的な知識や技術を適応的・持続的に学ぶための学習環境デザイン，長期的な視点からの学習評価法についても本学会の新しいトッピクスとして議論したいと思います．萌芽的な取り組みに関する発表を歓迎いたします.

「医療・看護・福祉分野における ICT 利用」に関しては，マルチメディアを活用した e ラーニングが多くの医療系大学や病院などに導入され，ICT を活用して膨大な知識の効率的な学習，新しい知識の定着，医療・看護技術の習得などで，高い学習効果が得られたことが報告されています．本研究会では，医療・看護・福祉分野において求められている高い実践能力をもつ人材の育成やナレッジマネージメント，学習者支援，学習コ

ンテンツの設計，インストラクショナルデザイン，医療シミュレーション教材の開発や実践，医療サービスの質保証ならびに質評価，e ラーニング教材制作，臨床や教育機関での実践・運営環境，著作権処理に関する様々なトピックを扱い，この分野における専門職教育に必要な知識や技能を習得するための ICT 活用教育方法について，議論を進めていきたいと思います．

その他，教育システムに関する幅広い分野からの発表も歓迎致します．初中等教育，高等教育，企業教育などの分野から，多くの方々の発表をお待ちしております．

なお，第 1 回研究会は情報処理学会「教育学習支援情報システム（CLE）研究会」，学習分析学会（JASLA）研究会と合同開催です．この特徴を活かした合同のイベントを企画中です．

注）第 1 回研究会では，論文形式の原稿を伴わない発表も受け付けます．各種の実践事例やシステム・製品に関して，気軽に情報提供を行い聴衆の方と意見交換を行いたい方は，ぜひご活用下さい．なお，発表にあたってはいくつか注意事項がございますので，下記をご覧ください．

■発表時間は 25 分（発表 20 分，質疑 5 分）を予定しております．

注）講演申込において「口頭発表（原稿無し）」を選んだ方は以下の要領で発表を準備して下さい．
・発表時間は 15 分（予定）です．発表，質疑，意見交換等を自由にアレンジしてください．
・発表時には必ず資料の配布をお願い致します．形式は任意です．
・配布資料は各自で準備をお願いいたします．学会では印刷を致しません．
・システムや製品のデモンストレーションをしていただいても構いません．この場合は事前に第 1 回研究会担当（松居）とご相談ください．

■懇親会：
研究会終了後，懇親会を開催する予定です．会費は 4000〜5000 円の予定です．

■お問い合わせ先：
松居辰則（早稲田大学，第 1 回研究会担当委員）
E-mail: matsui-t@waseda.jp（「@」の部分は，半角の「@」に変えて下さい）

研究会報告の電子化のお知らせと年間購読の申込みについて

研究会の研究報告が，2016 年度から電子化されております．

研究報告は，現在 30 巻を数え，これまで教育システム情報学に関して毎年 150 件程度の研究成果（2013 年度 155 件，2014 年度 139 件の発表論文）を掲載し，大変多くの皆様にご購読いただいて参りました．

印刷媒体での研究報告では，研究会当日の閲覧のために持ち運びが必要であったり，保管や管理等が煩雑であったかと思いますが，このたびの電子化によって，オンライン上で研究成果のタイムリーかつオンデマンドな閲覧が可能となり，さらに保管などの手間もなく，益々便利に活用できるようになります．

つきましては，研究会報告の「年間購読」のお申し込みをご検討いただければ幸いです．研究会当日も電子媒体として販売する予定ですが，年間購読がお得となっております．

- 年間購読：4,000 円（定例研究会年 6 回，特集研究会 1 回，計 7 回分を含む）
- 当日販売：1 冊 1,000 円

新規での「年間購読」申込みにつきましては，年会費をお支払いいただく前に会員種別変更申込をお願いします．以下の手順でお申し込みください．

すでに年間購読をしていただいている方は手続き不要です．自動的に研究報告の電子化に移行させていただきます．

1) 年会費納入手続きの前に，下記フォームにて事務局（secretariat@jsise.org）まで年間購読申込をしてください．

==========
※研究報告年間購読希望
会員番号（お分かりであれば）：
お名前：
所属：
連絡先 e メールアドレス：
==========

2) 手続き終了後，事務局より会員種別変更完了のご連絡を差し上げます．
3) マイページから年会費と合わせて年間購読費をお支払いください．

※年会費納入後に「年間購読」を申込みご希望の場合は，事務局（secretariat@jsise.org）までご連絡ください．年間購読の請求書をお送りし，会員種別変更の手続きを進めさせていただきます．

「2016 年度 JSiSE 学生研究発表会」に関する参加案内

教育システム情報学会　　人材育成委員会

関係者各位,

平素は，教育システム情報学会の活動にご協力頂き，ありがとうございます.

さて，教育システム情報学会人材育成委員会では,「学生研究発表会」を下記の通り企画しました．２月後半から３月初旬にかけて９会場で学生研究発表会を実施しますので是非ご参加をご検討ください.

学生研究発表会 Web ページ：http://www.jsise.org/society/presentation/index.html

記

１）開催地区・開催都市　開催場所・開催日　実行委員長情報

開催地区 **開催都市**	**開催場所・開催日** **実行委員長（連絡先）**
北海道 千歳市	千歳科学技術大学　2017 年 3 月 4 日（土） 小松川浩（千歳科学技術大学）　hiroshi@photon.chitose.ac.jp
北信越 長野市	信州大学教育学部　2017 年 3 月 4 日（土） 新村正明（信州大学）（仮）　hse-submit@jsise.org
関東 銚子市	銚子市民センター（宿泊場所：犬吠埼観光ホテル）2017 年 2 月 28 日～3 月 1 日（合宿形式） 山本樹（尚美学園大学）　t-yamamoto@b.shobi-u.ac.jp
東海 名古屋市	愛知県立大学サテライトキャンパス（名古屋駅前）　2017 年 3 月 6 日（月） 浦尾彰（鈴鹿工業高等専門学校）　urao@info.suzuka-ct.ac.jp
関西 大阪市	関西学院大学大阪梅田キャンパス　2017 年 2 月 28 日（火） 河野稔（兵庫大学）　kawano@hyogo-dai.ac.jp
中国 広島市	広島工業大学五日市キャンパス　2017 年 3 月 4 日（土） 松本慎平（広島工業大学）　s.matsumoto.gk@cc.it-hiroshima.ac.jp
四国 高松市	香川大学幸町キャンパス　2017 年 3 月 3 日（金） 林敏浩（香川大学）　hayashi@eng.kagawa-u.ac.jp
九州 福岡市	九州工業大学サテライト福岡天神　2017 年 3 月 7 日（火） 坪倉篤志（日本文理大学）　tsubokura@nbu.ac.jp
沖縄 那覇市	琉球大学総合情報処理センター2F 第 3 実習室　2017 年 3 月 3 日（金） 谷口祐治（琉球大学）　taniguchi@cc.u-ryukyu.ac.jp

※更新情報などは学生研究発表会の Web ページでご確認をお願いします.

教育システム情報学会 2016 年度第３回研究会報告

テーマ：ICT を利活用した高等教育機関の教育連携／一般
※今回は「一般」のみのセッションとなりました。
開催日：2016 年 10 月 1 日（土）
会　場：香川大学幸町キャンパス総合情報センター1 階 PC ルーム（香川県高松市）
担　当：林敏浩、小西達裕、安間文彦
発表件数：６件　参加者数：約２０名

概　要：

近年、e-Learning など ICT を基盤とした大学間連携が各地で進展しています。このような新しい形の大学間連携について、ICT 基盤（LMS などの教育支援システムを含む)、単位互換制度や大学教育の共同実施 などの方法論、さらには実際の教育実践と評価などに着目して、幅広い観点から発表を募集しましたが、今回は残念ながら本テーマのエントリは０件となりました（ただし、上記のテーマ主旨は記録資料として本報告に記載します)。本研究会は６件の一般発表でしたが、各発表に関して質疑応答は活発に行われ、深い議論ができたと考えます。なお、本研究会は PC ルームの端末で予稿を閲覧できるようにしたり、中間モニタで研究会スケジュールを流すなど、PC ルームの特徴を活かした参加者への情報関連の提供サービスを試行しました。このようなサービスについても参加者の反応は概ね良好でした。

プログラム：

1. 自転車ドライバのため交通安全教育アプリ“ポケットポリス” -運用実験結果の分析-
   ○中川晋平，奥田浩斗，後藤田中，林敏浩(香川大学)
2. Gnuplot を用いた数学用 e-ラーニングシステム STACK の描画環境の改良
   深澤謙次(呉工業高等専門学校)，中村泰之(名古屋大学)
3. 選択的フィードバックによる個人の運動学習支援
   ○石岡匠也，後藤田中(香川大学)，松浦健二，カルンガル・ステファン(徳島大学)，八重樫理人，林敏浩，藤本 憲市，村井礼(香川大学)
4. 多視点動画教材の視聴視点切替え提案による技能研修支援システム
   ○山本貴裕，後藤田中，石岡匠也(香川大学)，國枝貴之，村田淳，神代大輔((株)リコー)，小林雄志(立命館大学)，設楽佳世(国立スポーツ科学センター)，松浦健二(徳島大学)，八重樫理人，林敏浩，藤本憲市，村井礼(香川大学)
5. 経済政策シミュレーションにおけるアクティブ・ラーニングの実践
   ○大塚健太郎(早稲田大学)
6. RESAS を活用した授業
   ○松浦義昭(金沢大学)

教育システム情報学会 2016 年度第 4 回研究会報告

テーマ：「身体知・経験知に関わる学習支援／一般」
開催日：2016 年 12 月 10 日（土）
会　場：近畿大学（東大阪キャンパス）31 号館 5F 505 教室（〒577-8502 大阪府東大阪市小若江 3-4-1）
担　当：曽我真人，長谷川忍，柏原昭博，小尻智子
発表件数：6 件　参加者数：24 名

概　要：

この研究会は，電子情報通信学会教育工学（ET）研究会と同時開催で行われました．具体的には，会場となる部屋が隣接する部屋で行うことにより，相互に拝聴が可能なようにしておこなわれました．JSiSE 研究会のテーマは「身体知・経験知に関わる学習支援」で，6 件の発表のうち，4 件がテーマ発表でした．色識別スキルのトレーニングや，疑似力覚を利用した物語文の意図理解支援，動作学習支援などの発表があり，発表件数は少なかったですが，活発な議論が行われました．また，一般発表では，数学の CBT システムに関する発表とデモや，AR を用いたインタフェースの構築に関する発表があり，こちらも活発な討論が行われました．一方，同時開催された ET 研究会のほうは，テーマが「身体知・スキル学習」であり，テーマが良く似ているので，合同開催となりました．合同開催により，ET 研究会への参加を目的として来た研究者のうち何名かが JSiSE 研究会にも聴講参加しており，また，その逆もあったようで，合同開催の目的は達成されたものと思われます．

プログラム：

一般発表

１．遠隔で AR 物体を共有可能なデザイン学習のためのインタフェース
　○片平怜士（和歌山大学大学院），曽我真人（和歌山大学）
２．動画や動的オブジェクトを含む数学のＣＢＴ問題の試作
　○高木和久（高知工業高等専門学校）

テーマ発表：身体知・経験知に関わる学習支援

３．デジタル環境下での効率的な色識別能力向上支援システムの研究
　○大坪　誠，長谷川忍（北陸先端科学技術大学院大学）
４．A Prototype Virtual Learning Platform for Teaching Skills of Designing and Producing OVLs in Classrooms
　○Mohamed Elsayed Ahmed Mohamed，長谷川忍（北陸先端科学技術大学院大学）
５．物語文における意図理解支援のための擬似力覚呈示とその評価
　○梅津和朗，柏原昭博（電気通信大学大学院）
６．多様な手本動作をリアルタイムに提示する動作学習支援システムの提案と構築
　○吉永稔弘（和歌山大学大学院），曽我真人（和歌山大学）

2016 年度第５回研究会 開催報告

■テーマ：「新技術による教育・学習環境の構築と教授設計／一般」
■開催日時：2017 年 1 月 7 日（土）
■会場：愛媛大学 城北キャンパス
■担当：研究会委員 光原弘幸，三石大，佐々木整，高木正則，鷹野孝典
■会場担当：根本淳子，仲道雅輝
■発表件数：19 件 ／ 参加者数 34 名
■概要：

2017 年 1 月 7 日（土）に愛媛大学城北キャンパスにて，「新技術による教育・学習環境の構築と教授設計／一般」をテーマに，2016 年度第５回研究会（19 件のご発表，2 セッション）を開催しました．

スマートデバイス，ロボット，電子ペーパー，IoT といった新技術はもちろん，語学，防災，食育，プログラミング，研究者倫理など多様な学びを扱った研究発表があり，質疑応答時間以外にも活発な議論が見られました．あっという間に時間が過ぎていく研究会となりました．また，懇親会では，愛媛の名物料理を囲んで楽しく研究者間交流を深めることができました．

第５回研究会でご発表，ご参加頂きました皆さま，座長をお引き受け頂いた先生方，会場校として準備・運営を行って頂きました根本先生，仲道先生をはじめ愛媛大学スタッフの皆さまにこの場をお借りして御礼申し上げます．

次年度（2017 年度）の第５回研究会は 2018 年 1 月に，「新技術と教育情報を活用した教育学習環境の設計／一般」をテーマに横浜の中心街で開催される予定です．多くの皆さまのご発表をお待ちしております．

北信越支部主催ワークショップ
「成果発表を磨く」開催・募集のお知らせ

北信越支部では，広く教育工学，教育システム情報学を研究する学生・若手研究者の自己研鑽を支援するため，【成果発表を磨く】というワークショップを開催してまいりました．

内容は，論文執筆を目標とした研究のまとめかたに関する講演とともに，学位取得を目指す博士生や論文投稿を目指している修士生による研究発表と，論文執筆と目標とした議論を行うものです．

過去の２回のワークショップでは，講演をいただいた仲林会長や北信越支部会員の教員より，多くのコメントもいただけました．これらの様子は，北信越支部の Web サイトや Facebook にてご覧いただけます．

また，数多くのコメントをいただいた博士課程学生のみなさんは論文採録１名，国際コンペ表彰１名，学位取得２名など．それぞれに成果をあげていらっしゃいます．

いままでは，北信越支部を対象としておりましたが，今年度より，全地区の学生会員もしくは，会員の皆様が指導されていらっしゃる学生を対象としたワークショップへと拡大いたします．

本年度は

2017 年 3 月 3 日(金)　信州大学教育学部（長野県長野市）

で開催を予定しております．

このワークショップは，北信越支部学生研究発表会の前日に同会場で開催いたします．

詳細については，北信越支部 Web サイトまたはメーリングリストを通じてご案内いたします．「成果発表を磨く」実践的な機会です．みなさまのご参加をお待ちしております．

「成果発表を磨く」実践的な機会です．是非，登壇もご検討ください．みなさまのご参加をお待ちしております．

北信越支部 Web サイト：http://www.jsise.org/hse/

北信越支部 Facebook：https://www.facebook.com/jsisehse/

東 海 支 部 よ り 活 動 報 告

［研究会］

■日時：2016 年 12 月 10 日（土）15:00～16:00

■会場：名城大学天白キャンパス 研究実験棟Ⅱ2 階 K261 多目的室

(1) ICT masterplans in Singapore education

Fiona Lee Hui Fen（愛教大／文科省教員研修留学生）

(2) Journey of ICT education and internet+ in China

LIU FANGFEI（愛教大／文科省教員研修留学生）

(3) Usage of ICT in kindergarten education system of China

Zhang Chunhua（愛教大／留学生）

［講演会］

■日時：2016 年 12 月 10 日（土）16:10～17:10

■会場：名城大学天白キャンパス 研究実験棟Ⅱ2 階 K261 多目的室

■講師：松永豊先生（愛知教育大学）

演題：「小学校・大学でのプログラミング ―プログラミングの低年齢化について―」

2020 年から小学校での「プログラミング教育の必修化」が検討されている．本講演では，小学校段階での教育目標を踏まえたプログラミング環境および教材選びなどについて，小学生向け講座での様子や指導者育成の視点から検討がされた．

2016 年度 関西支部 交流会　開催報告

■開催日：2016 年 12 月 3 日（土）18:00 – 20:30

■会場：大阪（BREEZE BREEZE 6F: 香港海鮮飲茶樓）

■担当：関西支部長　西端律子，企画者　越智洋司，瀬田和久，村上正行

■概要

JSiSE 関西支部会員の交流を深める目的で関西支部主催の交流会を実施しました．経緯としては，関西を拠点に活動し教育システム情報学に関心を持っておられる研究者（≒有職者）を主な対象として，関西支部の活動や，研究活動の活性化のきっかけになっていけばなぁと考えたものでした．会場の都合もあり，特段，研究発表といったことはしなかったのですが，まずは隣り合った方同士で情報交換会的な位置づけで実施しました．

何しろ初めての試みですので，人が集まるのかも不安なところだったのですが，19 名（大学関係者 17 名，企業関係者 2 名）のご参加を頂きました．関西支部は，教育システム情報学会の中で最大の支部ということもあり，はじめてお会いする方も多かったのですが，円卓を回しながら美味しい中華に舌鼓を打ちつつ，わいわいお話ししたり，産学連携に関する相談を頂いたりと楽しい時間を過ごすことができました．JSiSE 関西支部は歴史ある支部で，諸先輩方を中心にこれまで様々な活動を行ってこられました．そうした伝統を引き継ぎつつも，さまざまな情報も回ったようです．

教育システム情報学研究の新しい展開を生み出すような人のつながりを形成する契機になり，企画者としては嬉しい限りです．

Twitter アカウント開設しました

８月下旬より，全国大会開催に合わせて学会の公式 Twitter アカウントを開設しました．本アカウントは原則として当学会の広報を目的とした配信専用としております．本学会へのご質問・お問い合わせは，学会事務局分室（secretariat@jsise.org）へお願いします．また，Facebook アカウントとの連携も行っており，Facebook ページの投稿が Twitter にも流れますので，ぜひご活用（フォロー）ください．

https://twitter.com/JsisePr

✧　2017 年 1 月 31 日現在，フォロワー数 144 アカウント

Facebook ページもご覧ください

教育システム情報学会では Facebook ページを運用しています．本ページでは，

・論文・発表募集

・本学会に関連するイベントの情報

などを，いち早くお届けします．ぜひ，ご覧下さい．

Facebook ユーザの方は，ぜひ，「いいね」をお願いいたします．

https://www.facebook.com/jsise.org/

✧　2017 年 1 月 31 日現在,いいね 278 件

他団体　協賛・後援のお知らせ

協賛　「モバイル学会：シンポジウム　モバイル’17」
日時：2017 年 3 月 9 日（木）～10 日（金）
会場：大阪大学人間科学部
http://www.mobilergo.com/siteapps/1022/htdocs/?page_id=896

協賛　「IEEE-SMC2018」
日時：2018 年 10 月 7 日（日）～10 日（水）
会場：シーガイア国際会議場（宮崎市）
http://www.smc2018.org/

会費納入のお願い

2017 年度年会費納入についてのお願いです．学会の活動は皆様の会費で支えられていますので，ご協力のほどどうぞよろしくお願いします．

そろそろ会費請求の時期ですので，準備が整い次第お知らせいたします．なお，今年度以前の会費未納の方は，年度内にお支払いください．

- 「クレジット決済」，「コンビニ決済」をご希望の方は，下記のマイページよりお手続をお願いいたします．

URL　https://bunken.org/jsise/mypage/Login

※会員専用ページの URL は，会員情報管理システムの業務委託をしております，株式会社国際文献社のものになります．

- 「銀行振込」をご希望の方は，下記のいずれかの口座へお振込みをお願いいたします．

■振込先

◆ゆうちょ銀行
口座記号番号： 00180-6-709632
加入者名： 一般社団法人教育システム情報学会
フリガナ： シャ）キョウイクシステムジョウホウガッカイ

※他金融機関からゆうちょ銀行に振込む場合
銀行名：ゆうちょ銀行（金融機関コード：9900）
店名：〇一九 店（ゼロイチキユウ店）　預金種別：当座　口座番号：0709632
名義：一般社団法人教育システム情報学会
フリガナ： シャ）キョウイクシステムジョウホウガッカイ

◆三菱東京 UFJ 銀行（金融機関コード：0005）
店名： 上新庄支店（カミシンジョウ支店）
預金種別：普通　口座番号：0142708
名義：一般社団法人教育システム情報学会
フリガナ： シャ）キョウイクシステムジョウホウガッカイ

◆みずほ銀行（金融機関コード：0001）
店名：茨木 支店（イバラキ支店）
預金種別：普通　口座番号：1399483
名義： 一般社団法人教育システム情報学会
フリガナ： シャ）キョウイクシステムジョウホウガッカイ

- 請求書・領収書（支払い後）は，マイページでオンライン発行できます．
- 請求書・領収書の郵送をご希望の方は，事務局（secretariat@jsise.org）までご連絡ください．

※団体名でお振込みいただきますと，個人を特定できない場合がございますので，振込名に会員番号またはお名前をご入力いただくか，難しい場合は，振込内容を事務局までご連絡いただければ幸いです．
※そろそろ会費請求の時期です．準備が整い次第お知らせします．
※今年度以前の会費未納の方は，年度内にお支払いください．

【2016 年度あるいはそれ以前の会費を支払われていない方】

マイページでは，すべての会費が合算された金額が請求されます．先に 2015 年度分のみのお支払いを希望される方は，先に郵送された払込用紙付請求書をご利用になるか，学会事務局（secretariat@jsise.org）までご連絡下さい．

※会費のお支払いが確認できない場合，学会からの送付物を停止させていただく場合があります．また，定款の定めに従って除名手続きを進めさせていただく場合があります．

ご不明な点は，事務局（secretariat@jsise.org）までお問合せ下さい．

〒162-0801　東京都新宿区山吹町 358-5　アカデミーセンター
Tel:03-5937-5816　Fax:03-3368-2822　Email：secretariat@jsise.org

事務局より

会員専用ページのご案内

URL：https://bunken.org/jsise/mypage/Login

※会員専用ページの URL は，会員情報管理システムの業務委託をしております株式会社国際文献社のものになります．

■会員専用ページでは，以下のことが可能になります．

1. 会員個人ページでの，現在の登録情報の確認・変更
2. 年会費納入状況の確認
3. 会費の納入，クレジット/コンビニ決済
4. パスワードの変更

会員種別，フリガナ，研究報告年間購読の登録等はマイページでは変更できませんので，お手数ですが JSiSE 事務局会員窓口（secretariat@jsise.org）までご連絡をお願い致します．

ログインには， ID とパスワードが必要となります．

パスワードをお忘れになった場合は，上記ウェブサイトにて照会できます．何かご不明な点がございましたら，JSiSE 事務局会員窓口（secretariat@jsise.org）までご連絡ください．

今後とも教育システム情報学会の活動にご理解ご協力のほど，何卒よろしくお願い申し上げます．

学会誌・研究会報告のバックナンバーのお求めは

㈱毎日学術フォーラムまでお申し込みください．

株式会社　毎日学術フォーラム
〒100-0003　東京都千代田区一ツ橋 1-1-1 パレスサイドビル 2 階
TEL : 03-6267-4550　/　FAX　: 03-6267-4555
Mail : maf-sales@mycom.co.jp　/　URL　: http://maf.mycom.co.jp

■JSiSE 会員の方で「研究報告」の年間購読をご希望の方は，事務局分室までご連絡ください．
この機会にぜひ年間購読されますようおすすめいたします．
■年間購読料　4,000 円 / 年 6 回発行 ＜送料込＞

新入会員のご紹介

下記の皆様が新しくご入会されました．　2016 年 11 月 21 日～2017 年 1 月 23 日

氏名	会員種別
大園　佳和	正会員（購読）
酒瀬川　泰孝	正会員
森本　かえで	正会員
中野　楓子	正会員（購読）
関根　務	正会員
田中　博	正会員

氏名	会員種別
佐藤　克己	学生会員（購読）
中村　勇耶	学生会員
髙橋　秋典	正会員
向瀬　紀一郎	正会員
平　治彦	賛助会員からの正会員
小林　建太郎	賛助会員からの正会員

入会のご案内

入会をご希望の方は，下記のサイトよりオンライン入会申込フォームにアクセスしていただき，お申し込みをお願いいたします．後日，事務局から入会金や年会費のお支払い方法などをメールにてご案内いたします．教育分野における情報通信技術の利用に関する学術研究に興味のあるお知り合いの方がおられましたら，是非ご紹介をいただきますようお願い申し上げます．

URL：http://www.jsise.org/admission/index.html

☆キャンペーン☆

※現在，本学会開催の研究会等で，会場にて新規お申し込みいただいた方には，
入会金を無料にさせて頂くというキャンペーンを行っております．
そちらも，合わせてご案内いただきますようお願いいたします．